

評価委員会総合評価

研究課題名：九州地方で発生する大雨に対する地球温暖化の影響評価研究

評価委員

委員長：榊原茂記

委員：山中吾郎、藤田 匡、大野浩史、永戸久喜、中里真久、岡本幸三、
足立アホロ、仲江川敏之、山本剛靖、中村浩二、村田昭彦、井上 卓

評価年月日：令和8年2月27日

1. 総合評価

- (1) 実施の可否 可 否
(2) 修正の必要の有無 修正の必要あり 修正の必要なし

2. 総合所見

本研究は、九州地方で発生する大雨を対象にイベントアトリビューション (EA) 手法を用いて地球温暖化の影響を評価するものであり、社会的ニーズの高い研究テーマとして評価することができる。また、地方官署の地域特有の知見と、気象研究所が持つ高度な気候モデル・再解析データの知識を組み合わせることで、地域防災や気候変動関連業務への貢献が期待される。さらに、地方職員が最新の気候変動予測手法に触れ、技術力向上が図られるという人材育成の側面でも意義が大きい。

一方で、研究目標や EA 結果の整理方法、協力者の具体的役割が十分に明確化されていない点に留意が必要である。また、解析対象が九州地方に限られること、d4PDF などの大規模データ解析は負担が大きいと考えられることから、気象研究所の十分な技術支援が不可欠とである。

実施にあたっては、地方官署が主体的に取り組めるよう作業内容を明確化するとともに、研究目的・研究目標を具体化していただきたい。また、将来的には本研究が成功事例となり、全国への展開も見据えた地方共同研究に発展することにより、気象庁全体としての気候変動影響評価研究の発展に寄与することを期待する。